



いきものみつけ

News.
Vol.11

発行：いきものみつけファーム滋賀推進協議会
電話：090-7966-2262 FAX：0748-68-0598

編集：事務局 竜王 住所：甲賀市土山町黒川
E-mail:ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp 平成27年5月25日

いきものみつけ寺子屋・ いきもの観察&田植え



平成二十七年五月五日晴天の子どもの日。いきものみつけ寺子屋のスタートです。今年、十八組の親子の方々が、山内の田んぼのフィールドに集合。

午前中は、親子での田んぼでのいきものみつけ、多様な生き物の住処になる田んぼと食への気づきを促します。ウヨウヨいるイモリやカエルを子どもたちも手でつかみます。網を持って探さない子どもさんにも保護者の方々も一緒にあって、田んぼや水路を覗き込みま



す。アカハライモリ、カワムツ、ドジョウ、トノサマガエルなどが集まってきました。今年も大学生のお兄ちゃんが強いスケット。いままで、いきものなめてつかんだことのない子どもさん、もイモリやカエルを触って、初めての体験をしました。気軽にいろいろ教えていただき、子どもたちもうれしかったようです。お昼は、恒例の山内地域のおばちゃんたち(おむすびの会)によるおにぎり、豚汁、今の時期だけしか採れないコゴミの天ぷら。ギューギューで狭いくらにみんなで座りお話をしながらいただくことがで



きました。

土手の草花も多様な品種がありました。午後からの田植えには今年から、猪鼻(いのひな)の休耕田であった田んぼをいきものみつけ用に復活させていただきました。松岡勝男様ありがとうございました(うございませう)



岡田和男会長から田植えの仕方の指導を聞き、いざミズノは他田んぼへ。うわー泥があたたかい・・・抜けない足に苦戦。家族ごとに担当する場所を大まかに決め、号令ごとにみんな田植えを・・・と思いきや、いろいろなペースで四苦八苦でした。一旦お尻をつけて泥だらけになったら、もういいや?と何度も泥を体で体

感ずる子どもさんもいました。体を洗うのも、水路。お天気が良かったという事もあり、水路をお風呂のように使ってしまう子どももいました。

田んぼにいるプランクトン観察を子どもたちがしました。ちっちゃな子どもたちも科学者になって気分で見き込み、お昼に三田村先生からお話があった「小さな生き物も大きな生き物もそれぞれがいて、食べるものができているんだ」と確認しました



みんなの感想



・多くの参加者がいておどろいた。祖父の米作りを見ているだけよりもじっさいに自らやってみることで、苦勞がわかり、食物のありがたみを実感できればと思います。田植え体験については収穫まで継続して参加できればと思います。

いきものみつけ寺子屋の田植えに参加した。今年で2年目です。去年は、ぜんぜん準備もどうしたらいいかわからなかったけど、今年は、貰った紙を見て、どんどん準備ができたし、こんなかつこうでしたら良かったかな？ということも考えられました。午前中は、下の田んぼにおいて、水辺や田の畔にいるいきものを探しに回りました。あんまり生きものが見つけれず、困っているとスタッフのおちゃんが「サワガニがいるで」と教えてもらえてそれをつかまえました。

私の家の裏の用水路があって、そこも数年前までサワガニがたくさんいたけど、よそから来た子がサワガニをたくさんとって、川にももどさなかったり、アメリカザリガニを放したりするので、サワガニを見なくなったけど、久しぶりに見たのでうれしかったです。

またうちの裏にもどってきてほしいなと思いました。お昼ごはんに美味しいご飯とみそ汁と天ぷらをいただきました。ご飯はとても美味しかったので、おかわりをしました。

午後からの田んぼは去年よりも小さな田んぼでちょっとがっかりしました。けど、小さい子にはちょうど良かったと思います。私たちも大人もドロドロになってしまったけど、いい田植えになりました。これからもずっと観察して、お世話をし、秋には美味しいお米がとれるといいなと思います(小6女子)

・お昼ごはんにいただいた山菜の天ぷら、おいしかったです。事前の準備も含め、お世話になりました。



子どもがめをキラキラ輝かせて、楽しんでるのが良かったです。なかなかいきものに触れたりする機会がないので、喜んでいました。



おにいちゃん先生紹介です



いきもの観察の指導をさせていただきました。滋賀大学教育学部3回生の山本賢樹です。私は子どものころ、近所の川でいきものを捕まえて遊んでいました。いきもの好きが転じて今、高校の先生になって生物学を教えたいと勉強中です。私はこのような場で指導をするのは初めてでしたが、天候にも恵まれたたくさんのいきものを見つけることができました。参加者の子どもの中には、マイ網を持参しているいきもの博士のような上級者もいました(笑) 一方で、川や田んぼに入って、泥やいきものに触れるのは初めてという子もいたようです。大喜びの様子で、私も嬉しくなりました。初めていきものを捕まえた。泥だらけになって田植えをした。参加した子どもたちには、この感動を大人になってもずっと覚えていてほしいと思います。そして、自然を大切に思う心を持った人を一人でも多く増やしたい。それが指導者としての私の願いです。

長女がイモリやカニをさわられるようになり、次女が泥まみれになり、普段体験できないことをできて家族で楽しめて良かったです。昼食がおいしかったので、毎回食べたいです。ありがとうございました。

先生たちにもいろんなことを教えていただき、大変勉強になりました。自分の子どもの頃にもそんな先生がいたら良かったのと思いました。

学校で教えてもらっている生き物を見るのができて楽しかったです。実際に体験をすることで、自然の大切さがよくわかりました。



子どもと一緒に田植えができて良かったです。学校でバケツ苗ト化はしていますが、大きな田んぼで出来たので、良い経験になったと思います。

見つけたいきもの

- 魚類・アブラハヤ ・カワムツ ・ドジョウ ・シマドジョウのなかま ・ヨシノボリのなかま
- 両生類・トノサマガエル ・シュレーゲルアオガエル ・イモリ
- 昆虫・シオカラトンボのなかま(ヤゴ) ・イトトンボのなかま(成虫) ・アメンボのなかま ・コシマゲンゴロウ
- 貝類・カワナナ ・マルタニシ ・マシジミ
- その他・サワガニ ・ミミズのなかま

同定者 貝類:藤野勇馬 それ以外:山本賢樹

